



ブラジルから日本へ そして自分のルーツ沖縄へ

縄から全国に通用するチームになりました。僕たちが、沖縄から初めてJFLに入れたのは、必然だったと思うんです。(FC琉球は)自分たちで力をつけていったチームだったから。

けれど、たとえ頑張っても(試合に)負けるチームは誰も応援してくれません。これからは、J2、Jリーグに行くために、もっといい結果をだして、サポーターを増やしていきたいと思っています。(そつう)今までの色んなことがあったので、JFLがあがったときは言葉にできないくらい気持ちがあります。今、負けたと悔しくて眠れないんですが、あの時昇格したときも嬉しくて眠れなかった。そのくらい大きな嬉しさでした。



JFLホーム開幕戦

祖父母の故郷
沖縄に魅せられる

僕のおじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さんもみんな沖縄の人で、僕は日系三世です。ブラジルに住んでいたころ、沖縄の話はよく聞いていました。おじいちゃん、朝から三線を弾いていたし。おばあちゃんからは、うちなーぐちで怒られていました。「がちまや」とか、「あきさみよー」とかね。意味は分からなかったんですけど、(顔を見て)怒ってるってすぐ分かりますからね(笑)。

あと、みんなからよく聞いていたのは「ビーチ」がきれいということ。沖縄の海は本当にキレイ。とても好きです。沖縄は、あったかいし、人も話しやすいし、とても過ごしやすいところなんです。今は、沖縄から離れたくありません。本土にサッカーに行くときも、早く沖縄に戻りたいと思うんです(笑)。

憧れていた、
世界のウチナンチュ大会

世界のウチナンチュ大会のことは、ブラジルにいたときから、ずっと知っていました。外国に住んでいる沖縄の日系の人たちはみんな(大会のことを)知っているし、みんな沖縄に行きたがってますよ。沖縄の人(周囲の友人たち)には意外と知られていないんですけどね(笑)。

今、外国に住んでいる(沖縄の)人たちは、産まれてくる子どもにも、沖縄の文化を教えています。みんな沖縄の人だということにプライドを持っているんです。

おきなわ 夢人列伝

ゆめんちゆれつでん

祖父母の故郷沖縄から Jの舞台へチャレンジ

FC琉球 比嘉リカルド

仲間と手に入れた 沖縄初のJFL昇格

ブラジルから日本に来て、最初は本土のJ2のチームにいたんですが、色んな理由があつてそこを辞めなければならなくなりました。そのときに、沖縄のチームから声をかけられ、来沖しました。そこでは、バイトをしなければ生活できず、またチーム内で色々問題があり、サッカーに集中できる状態ではありませんでした。サッカーをするために日本に来たのに、サッカーができなくなつて、夢が見えなくなつてしまったんです。

その時、(チームの)みんなが「新しい

チームを作るう、自分たちで、ゼロから始めよう」と言ってくれて、それでFC琉球が始まったんです。

(当時の)僕はもう29歳。体力的にも(一から始めるには)難しいし、お母さんの面倒をみないといけないなど、いろんな悩みがありました。でも、みんなと一緒に頑張ろう、バイトしながらでもサッカーを続けていこうと言ってくれました。サッカーは一人ではできません。みんなの(サッカーをやりたいという)強い気持ちがあったか



ら、サッカーを捨てずに続けていこうと思えました。そうやって、自分も(みんなに)返していこうと思えました。

でも、一年目は、サッカーボールもユニフォームもなく、スポンサーもいませんでした。練習する所もなかったんです。そこから、色んな人に協力してもらつて、自分たちも頑張つて、初めて沖



本番さながらの真剣な練習風景

県民へのメッセージ

僕は、6年前に沖縄に来ました。その時から(沖縄を)すごく好きになりました。今もここから離れたくない。

僕も、僕たちのチームも沖縄のために、沖縄のサッカーチームとして、サッカーを頑張っています。(チームの中には)本土から来ている人もいますが、みんな沖縄への愛があります。みんな、沖縄のために頑張りたいと思ってるので、県民のみなさんにも、応援してほしいです。現在、J2昇格をかけての試合をしています。ぜひ、見に来て下さい。

比嘉リカルド(ひがりかど) プロフィール

1973年5月4日ブラジル・サンパウロ州カンピーナス市生まれ
7歳からサッカーを始める。18歳でブラジルサンパウロのプロチームに入団。
98年来日し、99年当時J2のアルビレックス新潟に入団。2000年に沖縄のかりゆしFCを経て、現在FC琉球の主力メンバーとしてJリーグを目指す。また、フットサルの2006年アジア選手権日本代表メンバーにも選ばれた。

編集後記

風薫る5月。沖縄では、さわやかなこの季節を「若夏」と名付けて親しんでいます。若夏国体が開かれたのが33年前。本誌も30年目を迎えました。若夏同様、県民の皆様へ親しんで頂けたら幸いです。(ほり)

新しい環境にも慣れてきた今日この頃。「美ら島沖縄」が、今月からガラリと変わりました。表紙の花で季節を感じながら、中の記事もじっくり読んでくださいね(*^_^*) (あるく)

沖縄県広報誌 平成18年5月1日発行第30巻5号通巻368号

美ら島 沖縄

企画・編集 沖縄県広報課
発行 沖縄県広報課
〒900-8570
那覇市泉崎1-2-2
電話(098)866-2020

制作・印刷 株式会社 宣伝
〒901-2122
浦添市勢理客四丁目15番15号
電話(098)871-2111



5月放送予定

6日・7日 / 消費者月間
13日・14日 / 自動車税の納期内納付について
20日・21日 / ハブと外来毒ヘビの被害と対策
27日・28日 / これからの市町村合併

テレビ / 放送時間
●RBC 6:15 ●QAB 11:30 ●OTV 11:30

<http://www.pref.okinawa.jp/> 沖縄県ホームページ→沖縄県の紹介→広報課(テレビ・広報誌等)

番組に対するご意見・感想をお待ちしております。 県広報課 TEL.098-866-2020 FAX.098-866-2467 e-mail:kouhou@pref.okinawa.jp

ラジオ県民室

「ラジオ県民室」ではお昼のひととき、県が実施する行事、催し物、各種試験や募集のお知らせなどを行っております。

ラジオ / 放送時間 毎週月曜日～金曜日
●ラジオ沖縄(864KHz)12:10～12:15
●RBCラジオ(738KHz)11:55～12:00
●FM沖縄(87.3MHz)12:55～13:00